

平成30年度9月補正予算



平成30年度9月補正予算の主要項目

1 福井ふるさと元気宣言の実現

[交流人口の拡大]

- ・ 大規模なコンベンション機能を有するホテルの誘致
- ・ ワールドマスタースゲームズ2021関西の開催

[地域医療の充実]

- ・ 在宅医療の拠点となる診療所の整備支援

[新分野への挑戦]

- ・ 自動車向け炭素繊維シートの開発支援

[重要港湾の利用促進]

- ・ 新規航路(敦賀港～博多港)開設に向けた敦賀港の機能強化

2 平成30年7月豪雨被害の復旧

- ・ 被災した道路や河川等の復旧

3 公共事業の増額

- ・ 国の内示に伴う公共事業の増

平成30年度9月補正予算の規模

一般会計の9月補正予算の規模

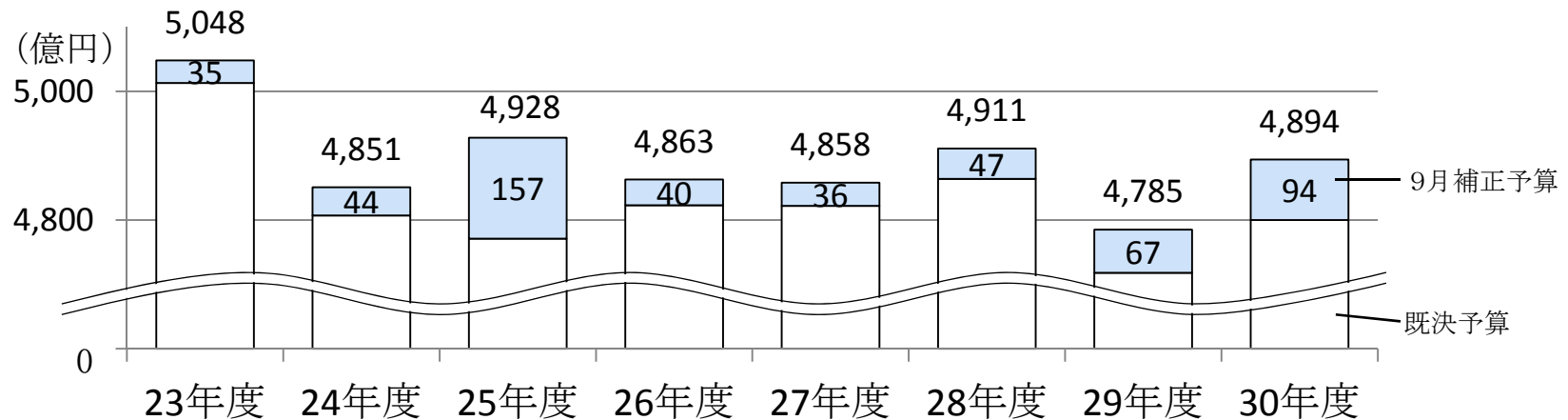
94億円

この結果、一般会計の予算現計

4,894億円 (対前年度比2.3%増)

会計	30年度			29年度 9月現計 (億円) ②	伸び率 (%) ①/②
	既決予算 (億円)	9月補正 (億円)	9月現計 (億円)①		
一般会計	4,800	94	4,894	4,785	2.3
特別会計	875	1	876	182	382.2
企業会計	369	—	369	362	2.0
計	6,044	95	6,139	5,329	15.2

一般会計の9月補正予算規模の推移



※25年度 追加補正117億円(台風18号関係)を含む

1 福井ふるさと元気宣言の実現 [交流人口の拡大]

企業立地促進補助金(ホテル誘致に向けた制度創設)

【主要事業P2】

○大規模なコンベンション機能等を有するホテルを誘致することにより、北陸新幹線敦賀開業に向けて、観光等による交流人口を拡大

制度内容

■新たな対象業種に「ホテル※」を追加

※国際的な知名度と高い評価を得ているホテルかつ以下の要件をすべてクリアする宿泊施設

- ・客室数が200以上であること
- ・平均客室面積が20㎡以上であり、40㎡以上の客室を有すること
- ・1,000人規模のコンベンション機能を有すること 等



【イメージ】

【施設整備費補助】

補助要件		補助対象経費	補助率	限度額
投下固定資産額	雇用者数			
80億円	30人	① 土地取得費 ② ホテル等建設費 ③ 設備等取得費	25%	20億円※

※会員が5千万人以下のホテルの場合15億円

ワールドマスターズゲームズ2021関西開催準備事業（5百万円）【主要事業P3】

- ライフセービング競技を県内開催し、国体を機に高まるスポーツ機運の承継や新幹線開業に向けたインバウンドの拡大、国際大会のさらなる誘致を促進

大会概要

■ 開催競技

ライフセービング（高浜町 若狭和田海水浴場）

■ 開催時期

ワールドマスターズゲームズ2021関西

開催期間（2021年5月14日～30日）のうち2日間程度

ワールドマスターズゲームズ2021関西（予定）

- ・生涯スポーツの国際総合競技大会（4年に1度開催）

【開催競技数】 35競技

【開催地】 関西全域（13府県政令指定都市）

【参加者数】 国内3万人、国外2万人を目標



【ライフセービング競技（ビーチ・フラッグス）】



【ライフセービング競技（サーフレース）】



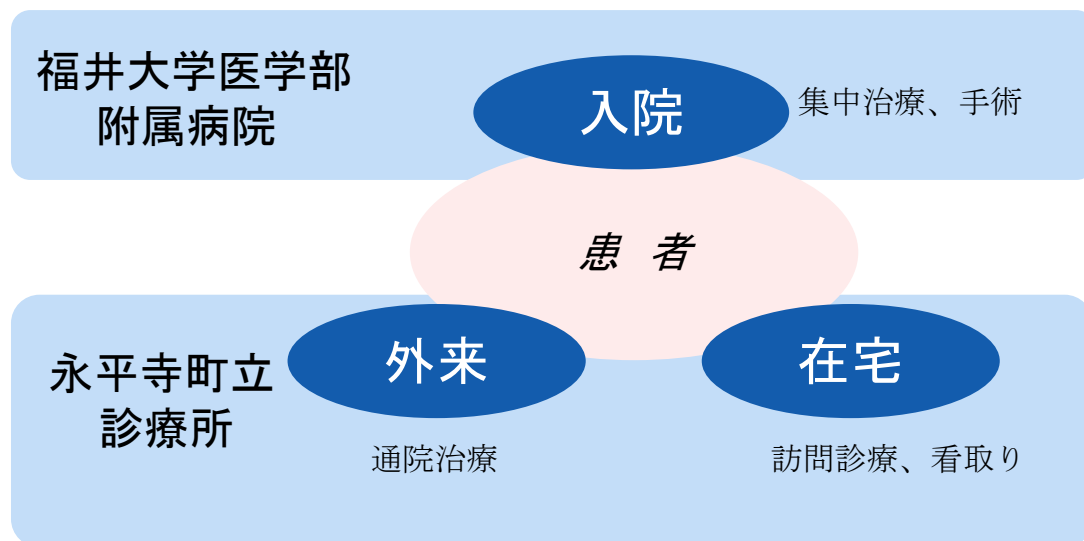
【若狭和田海水浴場】

1 福井ふるさと元気宣言の実現 [地域医療の充実]

在宅医療拠点診療所整備支援事業 (47百万円) 【主要事業P1】

○在宅医療など地域医療の充実のため、福井大学病院と連携し「永平寺町立診療所(仮称)」の開設を支援

永平寺町立診療所と福井大学病院が連携した医療体制



【訪問診療の様子】

健康管理を含めた
様々な疾患への対応

在宅医療の充実
(町内全域で24時間対応)

※ 研修医等が、入院、外来、在宅の一連の医療を経験できる人材育成の場として活用

【施設概要】

施設面積：377㎡

従事者：医師3名、看護師3名、事務2名

診療内容：外来診療、訪問診療等

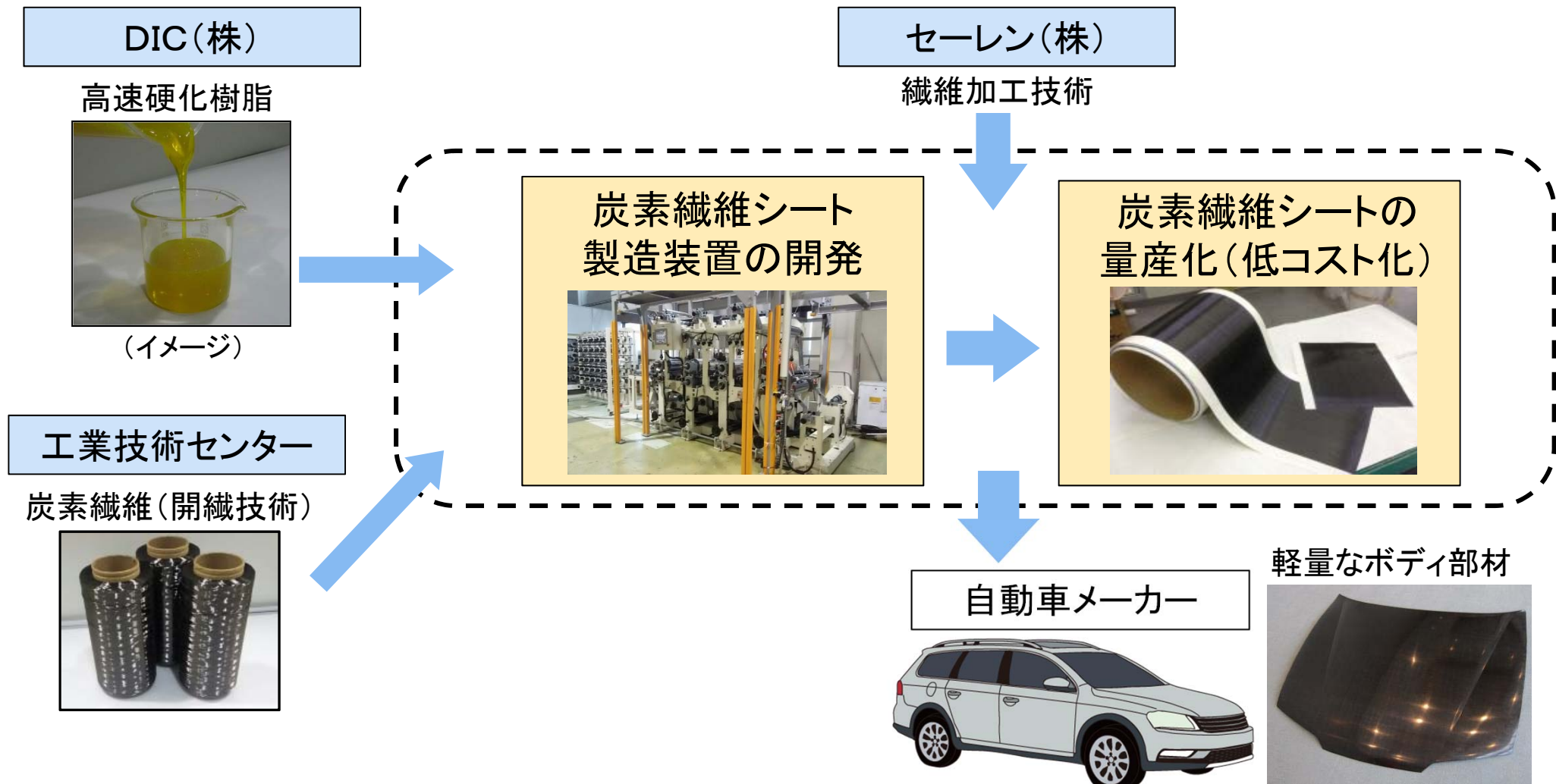
開所時期(予定)：平成31年4月

事業主体：永平寺町 (※要介護者あたりの在宅医療機関数が県内で最も少ない)

1 福井ふるさと元気宣言の実現 [新分野への挑戦]

炭素繊維の自動車分野への展開支援事業 (25百万円) 【主要事業P2】

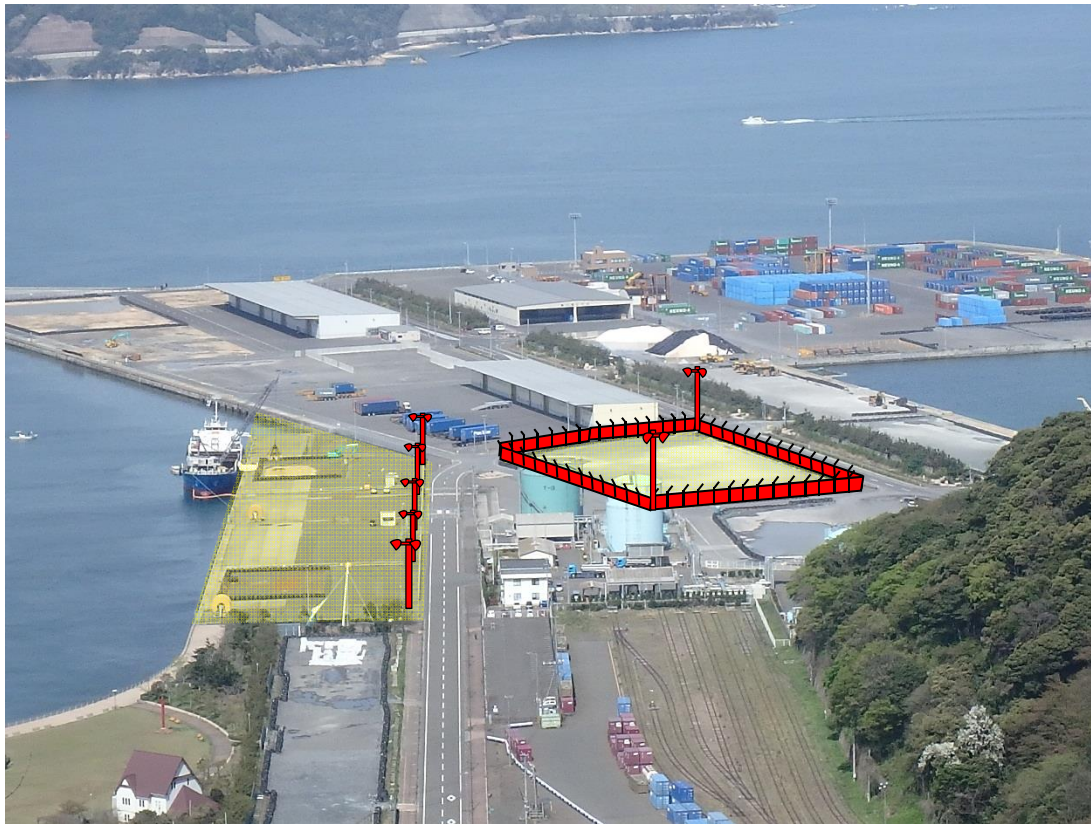
- 民間企業の樹脂、繊維加工技術と工業技術センターの炭素繊維技術を活かした共同研究を行い、自動車ボディ用炭素繊維シートを開発、量産化



1 福井ふるさと元気宣言の実現 [重要港湾の利用促進]

敦賀港金ヶ崎・鞠山南ふ頭整備事業(81百万円) 【主要事業P2】

○敦賀港金ヶ崎・鞠山南地区において夜間荷役の安全性を確保するための設備を整備し、来年4月の敦賀港と博多港を結ぶ新規航路開設を準備



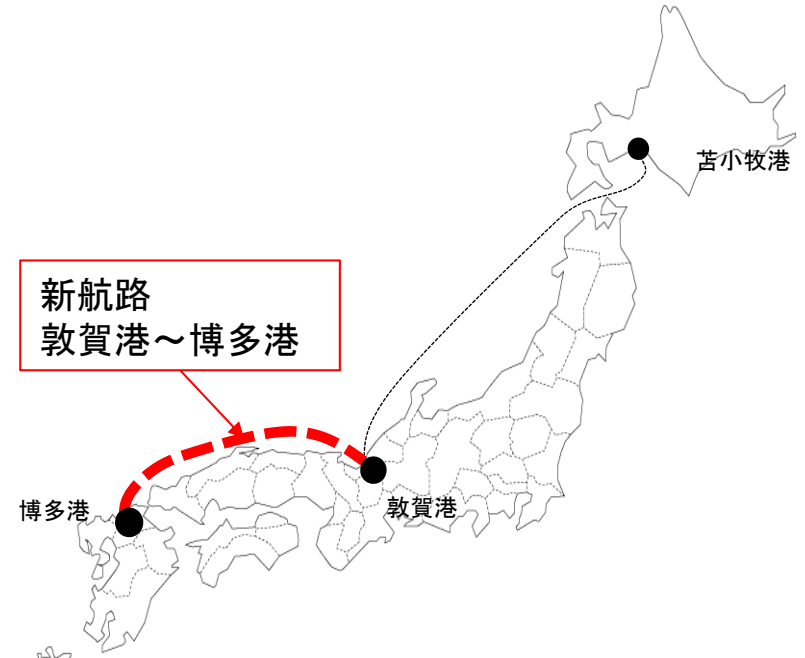
■整備内容

照明設備

7基 (↑)

フェンス

340m (⎓)



【照明設備・フェンス】
(敦賀港鞠山北地区)



【敦賀港～苫小牧航路のRORO船】
(敦賀港鞠山北地区)

2 平成30年7月豪雨被害の復旧

平成30年7月豪雨に伴う補正（4,877百万円）【主要事業P4】

道路災害復旧事業（主なもの）

- 国道305号（福井市居倉）
（アンカー工、仮設道路工 1,342百万円）



- 国道305号（越前町血ヶ平）
（落石防止柵等 210百万円）



河川災害復旧事業（主なもの）

- 永平寺川（永平寺町市野々）
（ブロック積工 53百万円）



災害関連緊急治山事業（主なもの）

- 越前町梅浦（上向山）
（治山ダム工 90百万円）



3 公共事業の増額

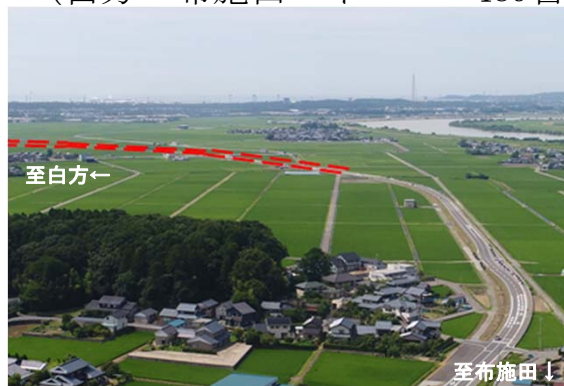
公共事業の増額 (3, 880百万円) 【主要事業P6】

道路・街路事業 (2, 379百万円)

○敦賀駅東線
(道路新設 269百万円)



○国道416号
(白方～布施田バイパス 489百万円)



○福井港丸岡インター連絡道路
(道路新設 102百万円)



河川・砂防事業 (689百万円)

○竹田川
(築堤・護岸工 162百万円)



直轄事業負担金 (388百万円)

○中部縦貫自動車道整備事業
(25百万円：事業費100百万円)



【大野東IC建設予定地付近(大野市蕨生)】



【荒島第1トンネル(仮称)付近(大野市下唯野)】